

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム あやらぎの里

作成日： 令和 5 年 4 月 15 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	運営推進会議を活かした取り組み	コロナ禍の中、書面会議が続く中、会議のメンバーとの関係が遠のいてしまっている。コロナ収束後の対面での会議開催に備えて、小まめに連絡を取りながら信頼関係を築き、委員の増員にも取り組んでいく。また、会議内容についても検討し、充実した会議を目指していく。	コロナ収束後の対面での会議再開に向けて幅広く委員を募り、薬剤師や歯科衛生士、元家族、他グループホーム管理者等に声をかけていく。また、薬について、口腔ケアについて等、ミニ勉強会を行ったり、地域の課題について話し合う等、ホームと地域、双方の発展に繋がる開かれた会議を目指していく。	12ヶ月
2	49	活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援	利用者の重度化や職員不足により、コロナ禍以前に比べてレクリエーションを行う機会が減っている。コロナ禍で外出等が出来ない状況の中で、利用者が笑顔で過ごせるよう、楽しみごとを提供していく。	職員配置や一日の流れを工夫しながら、利用者に関わる時間を確保し、小まめな声掛けやレクリエーションを通して、利用者が笑顔で生き生きと過ごせるよう取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。